

五 標準漢字表（国語審議会）

国語審議会が第六回総会（昭和十七年六月十七日）において文部大臣に答申したものである。常用漢字表の実行の状況に照らし、時運の要求に応じて選定したもので、当時漢字が無制限に使用され、社会生活上少なからぬ不便があるので、これを整理統制して、各官庁及び一般社会において使用する漢字の標準を示したものである、と同表の前書きに記されている。

全体を常用漢字（国民の日常生活に関係が深く一般の使用度が高い一一三四字）、準常用漢字（常用漢字に比べ、日常生活に関係が薄く一般の使用度も低い一三二〇字）、特別漢字（皇室典範、帝国憲法、歴代天皇の追号などの文字で、前記以外の七四字）の三種に分け、計二五二八字としたものである。簡易字体については、一般に使用せらるべき簡易字体（本体とするもの。数、乱、仮、実、独など）として七八字、一般に使用して差し支えない簡易字体（許容とするもの。仏、勞、区、寿、応など）として六四字が挙げられている。ただし、皇室典範、帝国憲法、歴代天皇の追号、詔勅を印刷又は書写する場合には、簡易字体を使用しない旨が注記されている。また、この漢字表を修正した同名の標準漢字表が、同年の十二月に文部省から出されている。これは漢字の三種の区別を廃し字数を二六六九字としたもので、その目的も「概ネ義務教育ニ於テ習得セシムベキ漢字ノ標準ヲ示シ」たものと変更された。

本資料集所収の標準漢字表（原本A5判）は、昭和十七年六月に国語審議会が刊行したものによったが、収録に当たって原本を拡大（一四一％）した。

昭和十七年六月

標準漢字表

國語審議會

一、本表ハ近來ワガ國ニオイテ漢字ガ無制限ニ使用セラレ、社會生活上少カラヌ不便ガアルノデ、コレヲ整理統制シテ、各官廳オヨビ一般社會ニオイテ使用セラルベキ漢字ノ標準ヲ示シタモノデアル。

一、本表ノ漢字ハ臨時國語調查會発表ノ「常用漢字表」實行ノ狀況ニ照シ、時運ノ要求ニ應ジテ選定シタモノデアル。

一、本表ノ漢字ハコレヲ常用漢字、準常用漢字、特別漢字ノ三種ニ分ケル。

常用漢字ハ國民ノ日常生活ニ關係ガ深く、一般ニ使用ノ程度ノ高イモノデアル。

準常用漢字ハ常用漢字ヨリモ國民ノ日常生活ニ關係ガ薄ク、マタ一般ニ使用ノ程度モ低イモノデアル。

特別漢字ハ皇室典範、帝國憲法、歷代天皇ノ御追號、國定教科書ニ奉掲ノ詔勅、陸海軍軍人ニ賜ハリタル勅諭、米國及英國ニ對スル宣戰ノ詔書ノ文字デ、常用漢字、準常用漢字以外ノモノデアル。

一、本表ノ漢字中ニハ普通ニ行ハレテキル簡易字体ヲ採用シタ。

〔備考〕

一、代名詞、副詞、接續詞、感動詞、助動詞オヨビ助詞ハナルベク
仮名デ書ク。

一、外國（滿洲國、中華民國ヲ除ク）ノ地名、人名オヨビ外來語ハ原
則トシテ仮名デ書ク。

タダシ

「歐米」「独佛」「佛印」「蘭印」等ノ用例ハ從來ノ慣例ニ從フモ差支
ナイ。

一、本表ニナイ漢字ハ固有名詞ヲ除キ原則トシテ仮名デ書ク。

タダシ

仮名デ書イテハ不明ナ場合ニハ漢字ヲ用ヒテ振仮名ヲツケル。

標準漢字表

部首	常用漢字	準常用漢字	特別漢字
一部	一 丁 七 丈 三 上 下 不 世 丙	且 丘	丕
丨部	中	丹	
丶部	丸 主		
ノ部	久 乘	乃 之 乏	
乙部	乙 九 乳 乱 (亂)	乞 也 乾	
丿部	事	了	
二部	二 五 井 亞	云 互 亘	
一部	亡 交 京	亦 亭 享	

人部	人仁今仕他付代令以仰	仇介企伊伍伏伐伯伴伸	仍佑傳
	仲件任休伺位低佐住何	似但佳併佻侈待依侮侯	
	佛(仏)作使來例供便係俗	侵侶促俄俊俠俱俳俸倉	
	保信修倭個倍候借仮(假)	倒倚值倦倫偏偕偵偶傍	
	偉停健側備催傳傷傾働	傑傘(傘)倣傭傲債僅僕僚	
	像價儀億儉優	偽僧儒償儲	
儿部	元兄先光免兒	充兆兕克兕	允兢
入部	入内全両(兩)		
八部	八公六共兵具	其典兼冀	
冂部	冊再	冒	
冂部		冗冠	
丩部	冬冷	冶准凍凝	

几部	口部	刀部	力部	勹部	匕部	匚部	匚部	十部	卜部
出	刀分切列初判別利制券	則前副割劇劒	力功加助努勅勇勉動務	勝勞(勞)勢勤勵(勵)	包	化北	區(区)	十千升午半卒協南博	
凡凱	凶凸凹函	又刈刊刑到刷刺刻削刺	剖剛剝剩創劑(劑)	劣効勃勘募勳勸(勸)	勻勾勿匆	匕	匠匡匪	匹匿	卑卓
								占	
勗									

卩部	印危卵卷	厥
厂部	厚原	
厶部	去參	咸 啻 嚮
又部	及友反取受	
口部	口古句召可史右各合吉 同名后向君吸告周味呼 命和品員唱商問啓善喜 單器	只叫叱叶司吃吏吐吞吟 否含呈吳吹吾呂咫唉咽 哀哨哲唄唆唇唐唯啞喉 喚喪喫嗣嘉嘗噲噴嚴囑 (囑)
口部	四回因困固國(国)圍(圉)園 圓(円)圖(囙)團	
土部	土在地坂埋城堂堅報場 均坊坐坑坪垂型垣域執	

士部	境墓增墨	士壯壹(壹)壽(寿)
夕部		夏
夕部		夕外多夜
大部		大天太夫失奉奧
女部		女好如妃妙妨妹妻姉始
		姓委姿威娘婚婦
子部		子字存孝孫學(学)
宀部		宅守安完宗官定客宣室
	壓壘壞壤	墳塋塋墜墮墮墳墾墾墾墾
		培基埼堀堆堤堪塤塊塔
		塗塞塵塾墜墮墮墳墾墾墾墾
		夙夢
		央夷奇奈奏契奔奢奪獎
		奮
		妊妥姦姪姬姻娛娠婆婿
		媒媛嫁嫌嫡孀
		孔孟季孤睟
		宇宏宙宛宜宸寂寡寧審
		寔寔

工部	ㄩ部	山部	巾部	尸部	尤部	小部	寸部
工左巧差	川	山岡岩岸峰島崇		尺尾局居屈屈屋展履屬	就	小少	宮害宴家容宿寄密富寒 察寢寔(實)寫(写)寶(宝) 寸寺封射將專尉尊尋對 (對)導
巨	州巡巢	岐岬峠峻峽崎崩岳(嶽)	屯	尻尼尿屍屏屑屢層	尤	尖尙	寬寮
		峨嵯				尠	

彡部	弓部	弋部	升部	廴部	广部	幺部	干部	巾部	己部
形影	弓引弟弱張强彈	式		延廷建	床序底店府度座庫庭庶	幼	平年幸幹	市布希帝帥師席帳帶常	己
彩彫彰	弔弘弦弧弼彌(弥)		弊		廉廊廓廠廳	幻幽幾	干	巾帆帖幅幕幡幣	已
	彊				庇				

彳部	役往征待律後徒得從御	彼徐徑(徑)循微徹	
心部	復徵德 心必忍志忘忠快念怒思 怠急性怪恐恥恩息悔悟 悲情惜惠惡想意愛感慈 態慣慰憲懇應(応)	忌忙忝忽怖怨怯恒恢恤 恨恭悅悉悠患悶悼惑惟 惰惱愁愉愚愼慌慕慘慢 慨慮慶慾憂憎憐憚憤憩 憶憾懲懷懸懼恋(戀)	恃恪悖 悚悛悖 惶愆懌
戈部	成我戒戰	戈或戚戮戲戴	戍
戶部	戶所	戾房扇扉	
手部	手才打扱承技投折押拂 (扌)拔招拜拾持指振捕捨 授掛採探接控(扣)損擊操	托扶批抄抑抗披抱抵抹 抽拍拒拓拘拙括拭拳撈 按挑挨挫挺挽抄捧据捺	攪攪

斐

无部	日部	日部	月部	木部
既	旦旬旭旱旺昂昆昌昔是曩	昭時晚晝(昼)普景晴暑暖 暗暮暴曇曜	月有服望朝期	木未末本札机杉材村束 柿杯東松板林枚果枝柄 染柔查柱柳栗校株根格 桃案桐桑梅條(条)梨械棒 森椀植楠業極榮(荣)構樂 標樣橋機橫檢櫻權(権)
	晶智暇暫曆曉	曳更曹曾	朋朗	朱朴朽李杖杜析枕枯架 柏某柑柅柴柵枋桎核栽 桶梁梯棄棉棋棚棟棺椅 楫楷槍桷概槽榼樓樞(枢) 樟模樹樺樽橘樞檀檄檜 (桢)櫓櫛欄
			朕隴	桓

欠部	止部	歹部	殳部	母部	比部	毛部	氏部	气部	水部
次欲歌歡(歡)	止正步武歲歷歸(歸)	死殘(殘)	段殺殿	母每毒	比	毛	氏民	氣(气)	水水永汁求池決汽沈河
欣欺欽款歎歐(欧)	此	殳殆殉殊殖殲	殳毀毆(毆)	毫					汎汗汚汝江汰汲沃沒冲
			殳						沙沸沼沿泊泌泡泥泰津
									洪派浦浪浸涉涯液涵涼
									洵淬

甘部	瓦部	瓜部	玉部	玄部	犬部	牛部	牙部	片部	月部	爻部
			玉王班現球理		犬狀猫独(獨)	牛物特		片版		
甘甚	瓦瓶	瓜	玩珍珠琴琵琶瑞環	玄率	猶猿獄獅獲獵獸献(獻)	牝牡牢牧牲牴牽犧	牙	牒		爽爾
				璽 玆	犴猷			牆		

生部	用部	田部	疋部	疒部	𠂔部	白部	皮部	皿部	目部
生產	用	田由甲申男町界畑留(亩)	疑	病痛	𠂔(發)	白百的皆皇	皮	皿益盛盡(尽)	目直相省眞眠眼
甥		畏畔畜畝畢畠異疆疊	疋疎疏	疫疲疹疾症瘕痔痕痘痢	痴療癌癩	登		盆盜盟監盤	盲盾眉看眇睡督睦瞬瞭

矛部	矢部	石部	示部	内部	禾部	穴部	立部	竹部
矢知短	石砂砲破研硯確	示社祈祕祖祝神票祭禁 福禮(礼)	秀私秋科秒移稅程種稻 穀積	究空突	立並(竝)章童競	竹笑符第筆等答策算管		
矛	矩矯	砥硝硫硬碁碍碎碑磁磐 磨礮礁礎	祀祇祉祐祓祥祿禍禦禪 禱(禱)	禽	租秤秩稀稗稚稜稟稱(称)	稼稽稿穗穩穫	穴穿窰窓窟窮窯窺窃(竊)	竟竣端
		礪礪	祚祺				竿笛笠筋筒箇箋(箋)箕篤	竭

糸部	米部	缶部	网部	羊部	羽部	老部
箱箸節範築簡籍	米粉粗精糖	欠(缺)	置	美群義	羽習翼	老考者
系紀約紋納紙級素細終	組結絕給統糸(絲)絹經(經)	縱綫(總)績織繼(繼)續(統)				
維綱綴綿線緣練縣縫縮						
簿籠(箆)籤籬	粃粒粕粘粟粧粹糊糞糧	縛縞繁繕(繡)繩(繩)繪(繪)	繫繭繰纂織	罐(罐)	罪罴罰署罷罹羅	翁翌翰耀
糾紅紊紐純紗紘紛紡索	紫累紹紺絃絡紹綜綠綬	網綸緊緒締編緩緬緯縊		羊着		
綏						

而部	耒部	耳部	聿部	肉部		臣部	自部	至部	白部
耕	耳聞聲(声)職	肉肥肩育肺胃背胸能脈	脫腕腰腸腹膳	臣臨	自	至致台(臺)	與(与)興舉(举)旧(舊)		
而耐	聊聘聖聯聰聽聾	肅(肅)肇	肋肌肖肝股肢肪肯肴胎	胞胴脂脅脇脊脚脹腎腐	腦腫腺膏膚膜膝膨膺胆	(膽)膿臆臟	臭	白	
			肱						

舌部	舛部	舟部	艮部	色部	艸部
舌舍	舞	舟航般船艦	良	色	花芽苗若苦英茶草荒荷 菊菓菜万(萬)落葉著蓄薄 藏藝藥
舒		舵舶舷艇	艱		芋芝芥芳苑苔苟茂茨茸 莊荃(莖)莫菌華菱萌萎萩 葦葬菟蒔蒙蒸蒼蓋蓮蔓 蔭蔽蕩薙薙薦薨薪薯藁藉 藍藤藩藻蘭
蟲部	虍部	虍(處)号(號)	虫(蟲)蚕(蠶)		虹蚊蛇蛋蛙蛾蜂蜜蝕蝶
蠹					芟

血部	行部	衣部	𠂔部	見部	角部	言部
血衆	行術衛	衣表袞袋被裁裏補製		見規視親覺(覺)覽觀(觀)	角解	言計訓記訪設許詔評試
融螢(螢)蟬蟻蠅(蠅)	街衝衡	衷袂袖袴袷裂裔裕裝裳	覆霸		觸(觸)	訂訃訊討託訟訴診詐詞
		裸裾複褐褒襟襲				詠詢詣詭詮詰該詳誇誌
						誕誘誠誦誰誼請諒諫諫
						諭諸諺諾謀謁謂膳謙謠
		裡				誥諧謨

身部	足部	走部	赤部		貝部	豸部	豕部	豆部	谷部
身	足距路	走起趣趣	赤	賣質贊	(貳)貴買貸費賀賃資賞賢 貝貞負財貧貨貫責貯貳		象豫	豆豐(豐)	谷
躬	跡跳踊踏踐(踐)蹄蹟蹴躍	赴超趨	赦赫	賜賠賤(賤)賦賭賴購贈	貢販貪貼貿賂賄賊賑賓	貌	豚豪	謬譜訛(譯)讓讚	
	蹶				貽	豺		豈	

車部	車軍輕(輕)輪輸轉
辛部	辛弁(辨辯)辭(辭)
辰部	辱農
辵部	込迎近返述迷追退送逆 途通速造連週進遊運過 道達遑遠適選避辺(邊)
邑部	郡部郵都鄉
酉部	配酒醫(医)
采部	

軌軒軟軸較載輔輅(輅)輜輳輓	輝輦輦輶輻輿轄轟
辰	
迂迄迅迦迫迭逃透逐逝 逢逮逸逼遁遂遇遍遙遜 逋(遞)溯遣遭遮遲(遲)遵遷 遺遼邁還	邑那邦邪邸郊郎
釀醖醕醢醔醚醜醬 醞釀	酌酢酬酷酸醇醉醒醜醬
采枳(釋)	

醞釀	醍醐釁
遑遐	

里部	里重野量	
金部	金釜針鉛鉢銀銃銅鋼錄	釘鈞鈍鈴銃銓銘銳鋒鋪
	錢(錢)錦鍋鍬鎌鏡鉄(鐵)鑛	鋌鑄錐錠錨錫錮錯鍊鍛
長部	長	鍵鎖鎮鐘鑄(鑄)鑑
門部	門閉開間閣閔(關)	閏閑閼閱閭
阜部	防降限陞院除陰陵陸陽	阜阪阻阿陀附陋陣陪陳
	隊階際障隣險	陶陷隅隆隔隙隨隱
隸部		隸
隹部	雀雄集雜離難	隹雁雅雇雌雖双(雙)雛
雨部	雨雪雲雷電震露	零需霜霞霧靈
青部	青靖靜	

香部	首部	食部	飛部	風部	頁部	音部	革部	面部	非部
香	首	食 飲 飯 養 余(餘) 館	飛	風	頂 項 順 預 頭 題 額 顏 願 類	音 響	革 靴	面	非
		饗 飢 飴 飼 飽 飾 餅 餌 餐 餓 饉	飜	颭	頽 頻 顛 顧 顯	韻	鞍		靡
					頁 頃 須 頌 頑 頒 頓 頗 頌 頸		鞏		

馬部	馬驗馱(驛)	馱馳馴駁駐駒駕駿騎騰
骨部	骨体(體)	騷驅(驅)驕驚 骸髓
高部	高	
髟部	髮	
門部		闕
鬼部	魂	鬼魅魔
魚部	魚鮮鯉鯛	鮎鮒鮭鯨鰯鯉鰻鯨
鳥部	鳥鳩鳴鶴鷄	鳳鳴鴉鵲鶯(鶯)鷺鷹
鹵部	塩(鹽)	鹵鹵
鹿部		鹿麓麗
麥部	麦(麥)	麴(麴)麴(麴)
		鴻
		閱

龜部	龍部	齒部	齊部	鼻部	鼠部	鼓部	黑部	黃部	麻部
龜(龜)		齒(齒)		鼻			黑点(點)	黃	麻
	龍(竜)	齡(齡)	齊(齊)(齋)(齋)		鼠	鼓	默黨(党)		
							黠		

簡易字体

一、左ノ簡易字体ハ一般ニ使用セラルベキモノデ、本表中括弧ノ上ニ掲ゲ
タモノ

並 乱 仮 両 実 属 廃 数 断 帰 残 浅 満 沢 濟 湾 独
 発 糸 経 総 継 欠 台 旧 万 処 号 虫 蚕 証 変 豊 輕
 弁 辞 辺 錢 鉄 関 余 駅 体 塩 麦 点 齒 亀

(以上 常用漢字)

剂 嘱 岳 徑 恋 扱 担 澆 炉 献 窃 箋 繩 胆 莖 蠅 触
 訳 賤 踐 輻 通 遲 釈 双 麴 麴 齊 齋 齡

(以上 準常用漢字)

一、左ノ簡易字体ハ一般ニ使用シテ差支ナイモノデ、本表中括弧内ニ掲ゲ
タモノ

仏 勞 勵 区 国 圀 円 匚 壺 寿 学 写 宝 対 応 弘 扣
昼 会 条 栄 権 歡 気 營 畠 画 当 尽 礼 続 声 与 举
覚 觀 譽 読 弍 医

(以上 常用漢字)

今 勸 弥 枢 桧 欧 殴 淵 溜 滝 灌 禱 称 竈 繡 絵 籬
肅 蛭 鑄 驅 鶯 党 竜

(以上 準常用漢字)

一、皇室典範、帝國憲法、歷代天皇ノ御追號、詔勅ヲ印刷マタハ書寫スル
場合ニハ、簡易字体ヲ使用シナイ。

国語施策沿革資料 11
漢字字体資料集（諸案集成1）

平成8年12月16日

編集・発行 文 化 庁

（文化庁国語課）

郵便番号 100

東京都千代田区霞が関三丁目2番2号

TEL (03) (3581) 4211
